

さいだいじきゅうけいだい うめがめ 西大寺旧境内で発見された埋甕遺構

西大寺旧境内 奈良市西大寺本町

平成15年度に、奈良市教育委員会が西大寺旧境内で実施した発掘調査で、古代の埋甕遺構が見つかりました。発見された場所は、現在の西大寺の北北東約300m付近にあります。この場所は、西大寺の伽藍復原では食堂院跡推定地に該当しています。食堂院とは、僧侶が食事を摂る場所です。

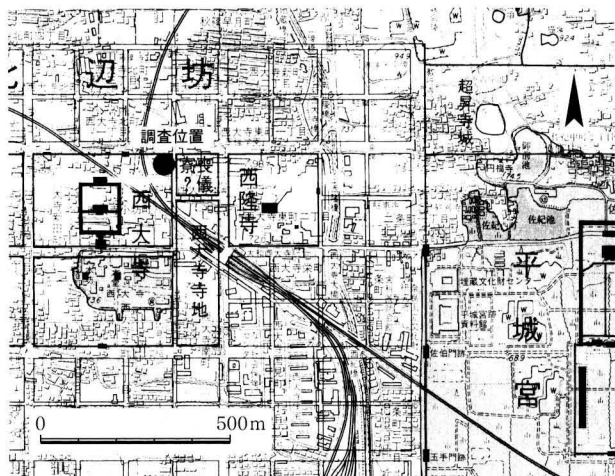
発掘調査は、合計332㎡の発掘区を設けて実施しました。その結果、古代の埋甕遺構と凝灰岩列、掘立柱穴列、礎石据付穴、条坊（道路）側溝、そして、中世の土坑などの遺構が見つかりました。

今回の調査では、埋甕遺構は合計28基分を確認しました。埋甕は、約1.5mの間隔で据えられており、その列は発掘区外の北側および南側へと延びています。遺構の様子からみて、少なくとも調査地内では東西4列、南北13列分の埋甕の存在が想定されます。

埋められている甕は、いずれも古代の須恵器で、胴回りの径は1.0~1.2mくらいと推測されます。発掘調査で検出された時には、下部の約1/3の部分が地中に埋まった状況で、その内部には甕自体の破片や古代の軒瓦などが多く落ち込んでいました。その中には、わずかながら土師器も含まれていて、遺構が埋まった年代を特定する手がかりとなりました。これらの埋甕遺構が廃絶するのは、およそ9世紀末~10世紀の初頭頃と考えられます。

また、この埋甕遺構の西側で、埋甕遺構に並行する形で南北に連なる凝灰岩列も検出しました。これらの凝灰岩列は、残り具合があまり良くなく、詳細なことはわかりませんが、平城京内寺院の主要伽藍の基壇でよくみられるような積み方ではないようです。ただし、一部には板状の石を置くなど、階段の跡ではないかと見受けられるような場所もあり、何らかの建物の外周を形成していた基壇の一部である可能性があります。そして、この凝灰岩列が廃絶する時期は、遺物の年代からみて、やはり9世紀末から10世紀初頭頃とみられます。

調査では、遺構の存する面が後世に削平されて



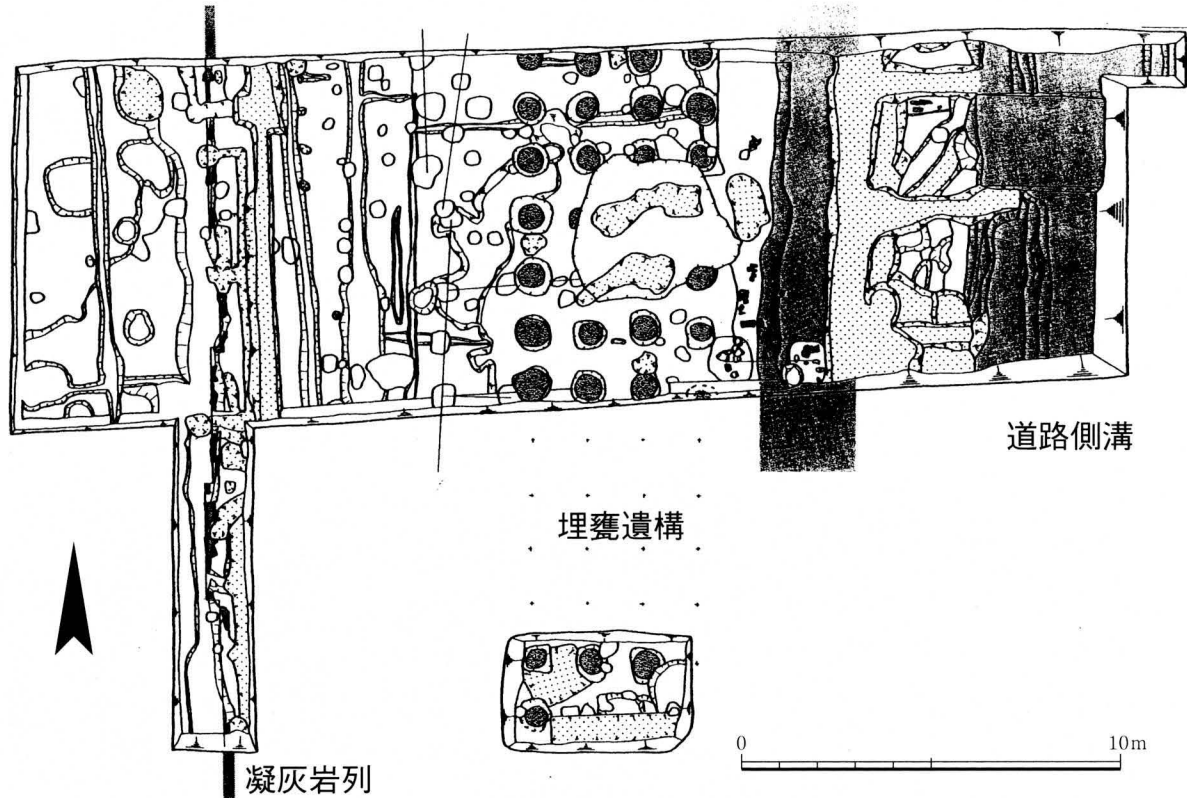
調査地位置図 (1/20,000)

おり、埋甕遺構群と凝灰岩列との関係を直接知ることにはできませんでした。しかし、二つの遺構の位置関係や廃絶した時期がほぼ同じであることから考えると、これらは一体の遺構であった可能性が高いのではないかと推測されます。

ところで、創建当時の西大寺の伽藍の規模などを伝える「西大寺資材流記帳」(宝亀十一〔780〕年)によりますと、食堂院地区には厨(台所)や倉という名称の付いた建物がいくつかあったことが記されています。そのように考えていくと、調査地はこの食堂院地区にあたるのですから、当然、厨や倉に伴って何らかの貯蔵施設があった可能性も推測できます。

埋甕遺構は、これまでに平城宮内や平城京内でもいくつかみつかり、食料などの貯蔵を目的とした施設であったものと考えられていますので、今回の埋甕遺構群の発見は、それが「西大寺資材流記帳」に書かれている建物や施設そのものであるかどうかは別として、食堂院に関連性のある貯蔵施設であったことは十分に考えられます。

なお、今回の埋甕遺構群の規模は、平城宮・京内で確認されている例と比較すると、かなり大規模であることがわかります。こうしたことから、当時の西大寺食堂院内の様相を示す遺構として、きわめて注目されます。



遺構平面図 (1/200)

平城宮・平城京で確認された埋甕遺構

官衙・条坊など	遺構番号	時期	方向	柱間規模	甕穴数	官衙・条坊など	遺構番号	時期	方向	柱間規模	甕穴数
1 造酒司	SB2976	奈良前半	南北	5×2	16	43 左3・2・4	SB3900	奈良中～後	東西	(3)×2	20
2 造酒司	SB2997	奈良前半	東西	6×2	15→16	44 左3・2・4	SB3900	奈良末平安初	南北	(5)×2	4
3 造酒司	SB13180	奈良前半	東西	5×4	11	45 左3・2・6	SB1552	奈良後半	東西	7×2	33
4 造酒司	SB16726	奈良前半	東西	6×2	21→21	46 左3・2・1.6	SB27	奈良	南北	(3)×5	5
5 造酒司	SB3004	奈良中頃	東西	5×2	9→8	47 左3・2・1.6	SB63	奈良後半	東西	3×2	13
6 造酒司	SB15803	奈良中頃	南北	5×2	5	48 左4・4・1.3	(SA103)	奈良	東西	5×2	11
7 造酒司	SB15802	奈良中頃	南北	5×2	4	49 左4・4・1.3	SB21	奈良	東西	5×4	15
8 造酒司	SB13210	奈良中頃	南北	6×2	11→36	50 左4・4・1.4	SB47	奈良後半?	東西	5×3	推定16
9 造酒司	SB3011	奈良後半	南北	7×4	14	51 左4・4・1.4	SB74	奈良後～末	南北	4×2	13
10 造酒司	SB15804	奈良後半	南北	7×2	28	52 左5・1・1.6	SB225	奈良	東西	(6)×4	12→19
11 造酒司	SB16730	奈良後半	南北	6×2	13→25	53 左5・1・1.6	SB217	奈良後半?	南北	6×2	5
12 造酒司	SB15805	奈良後半	東西	7×2	39	54 左5・1・1.6	SB219	奈良後半?	南北	6×2	4
13 造酒司	SB16727	奈良後半	東西	6×3	22	55 左5・5・1.0	SB03	奈良	東西	(3)×2	3
14 鐘樓官衛北区画	SB1803	奈良初頃	南北	11×2	4	56 左7・1・1.6	SB6591	奈良末～平安初	東西	5×4	4
15 鐘樓官衛北区画	SB2081	奈良前半	南北	7×4	39	57 左7・4・1.5	(SA01)	奈良末～平安初	東西	7×2	17
16 鐘樓官衛北区画	SB2862	奈良前～中	東西	5×4	28	58 右北辺1.4・6	SB1000	奈良後～末	東西	9×3	11
17 鐘樓官衛北区画	SB2855	奈良中頃	東西	5×4	21	59 右2・3・3	SB286	奈良	東西	6×3	18
18 鐘樓官衛北区画	SB2932	奈良後半	南北	7×3	30	60 右2・3・3	SB293	奈良	東西	3×2	5
19 内裏東外郭北	SB2578	平安初頃	東西	7×4	16	61 右2・3・3	SB219	奈良中～後	南北	5×2	15
20 第一次大極殿地区	(SA17891・17895)	平安初頃	東西	4×2	10	62 右2・3・3	SB357	奈良	南北	4×2	12
21 内膳司	SB540	奈良前～末	東西	1.8×2	26	63 右2・3・4	SB214	奈良後半	東西	5×3	推定18
22 内膳司	SB520	平安初頃	東西	6×3	15	64 右2・3・4	SB225	奈良末	東西	5×3	10
23 大膳職	SB170	奈良前半	東西	5×4	15	65 右2・3・4	SB223	奈良末	南北	5×2	11
24 大膳職	SB299	奈良後半	南北	7×2	25	66 右2・3・4	SB224	奈良末	南北	5×2	2
25 大膳職	SB370	奈良後半	南北	7×2	27	67 右2・3・4	SB235	奈良末	東西	9×3	36→53
26 大膳職	SB364	奈良後半	東西	9×4	31	68 右2・3・4	SB230	奈良末	南北	5×2	17
27 大膳職	SB293	奈良後半	南北	7×3	27	69 右2・3・4	SB231	奈良末	南北	5×2	16
28 大膳職	SB291	平安初頃	南北	5×4	11	70 右2・3・6	SB244	奈良	南北	3×2	6
29 馬寮	SB6130	平安初頃	東西	5×3	9	71 右2・3・6	SB250	奈良	南北	3×2	6
30 左2・2・1.0	(SX7686・7687)	奈良後半	-	-	2	72 右2・3・6	SB252	奈良	南北	5×3	3
31 左2・4・2	SB10	奈良前半	東西	(2)×2	4	73 右2・3・6	SB323	奈良	南北	4×2	8
32 左2・4・2	SB19	奈良中頃	東西	(3)×2	8	74 右2・3・6	-	奈良	南北	5×2	12
33 左2・4・7	SB07	奈良	東西	5×3	22	75 右2・3・6	SB322	奈良	南北	4×2	2
34 左3・1・7	SB5760	奈良後半	南北	4×2	7	76 右3・2・1.5	SB119	奈良中頃	東西	5×3	(5)→11
35 左3・1・7	SB5763	奈良後半	東西	3×2	6	77 右3・3・1	SB24	奈良	東西	5×3	5
36 左3・1・7	SB05	奈良後半	南北	3×2	4	78 右3・3・2	SB172	奈良中頃?	東西	5×2	20
37 左3・1・7	SB07	奈良後半	東西	4×2	5	79 右3・3・3	SB133	奈良後半	東西	(6)×2	6
38 左3・1・7	SB11	奈良後半	東西	4×2	8	80 右3・3・8	SB174	奈良後半	東西	5×2	20→6
39 左3・1・7	SB03	奈良	東西	(2)×2	8	81 右3・3・8	SB175	奈良後半	東西	4×2	16
40 左3・1・1.0	SB7480	奈良	東西	1.0×2	4	82 右8・1・1.3	SB1425	奈良後半	南北	5×2	18
41 左3・1・1.4	SB5636	奈良末～平安初	東西	(2)×2	6	83 右8・1・1.4	SB1577	奈良後半	南北	5×2	推定18
42 左3・2・8	SB4960	奈良前半	南北	9×3	12→20	84 右8・1・1.4	SB1534	奈良後半	南北	4×3	6→5

玉田芳英「平城宮の酒造り」『文化財論叢Ⅲ』奈良文化財研究所 2002 より一部抜粋
(1～29)は平城宮跡で、官衙名など、その他は平城京跡で、条・坊・坪で示した)